

エビネとアゲハ(5月)

コブシ(4月)



カタクリ(4月)

タマノカンアオイ(5月)

# 「縄文の村」は 自然の魅力も 盛り沢山！



春のカタクリ・エビネや  
多摩周辺に固有のタマノカンアオイなど、  
季節によって様々な草花や鳥・虫達に  
出会う遺跡庭園「縄文の村」。  
多摩丘陵の自然散策の際には  
是非お立ち寄り下さい。



コリンソウ(4月)



ウバコリ(8月)



ナツツバキ(7月)



クリ(9月)



復元住居の雪景色(1月)

東京都立埋蔵文化財調査センター



ゼンマイ(4月)

# いにしえ人の暮らしと植物



黄色に色づいたコナラ (12月)

様々な山野草から紅葉まで、四季折々の色に彩られるのも「縄文の村」の魅力の一つ。春には山菜が芽吹き、秋にはオニグルミやトチノミなどの山の恵みも一杯です。また、いにしえ人が糸作りに使ったカラムシなども展示しています。

主な山野草;アオイスミレ、アカソ、アマドコロ、イカリソウ、イチリンソウ、イラクサ、ウバユリ、ウラシマソウ、エビネ、カタクリ、カラムシ、カンスゲ、キツネノカミソリ、キンラン、ギンラン、クサソテツ、ジャノヒゲ、シュンラン、ゼンマイ、タマノカンアオイ、テイカカズラ、ナルコユリ、ニリンソウ、ノビル、ハナウド、ヒガンバナ、ヒトリシズカ、フタリシズカ、ホオズキ、ツワブキ、マルバスマレ、ヤブカンゾウ、ユキザサ、ワニグチソウ、ワラビ 他

「縄文の村」では、多摩ニュータウン遺跡の縄文時代中期の調査成果等に基づいて植えられた約60種類の樹木をはじめ、200種類以上の植物を見ることができます。他とは一味違う案内板にも注目!植物と人との関わりなどについて解説しています。

主な樹木;カヤ、イヌガヤ、アカガシ、アラカシ、シラカシ、シロダモ、ヒサカキ、ヤブツバキ、ヤマモモ、アカメガシワ、イヌシデ、エノキ、エゴノキ、オニグルミ、クヌギ、クマノミズキ、クリ、ケヤキ、コナラ、コブシ、サンショウ、ヒメコブシ、トチノキ、ナツツバキ、ネムノキ、フジ、ホオノキ、ミズキ、ムクノキ、ムクロジ、ムラサキシキブ、ヤエザクラ、ヤマグワ、ヤマモミジ、ヤブデマリ、ヤマザクラ、マユミ、アオキ、イヌツゲ、アケビ、ウツギ、ウコギ、ウグイスカグラ、ガクアジサイ、ガマズミ、クサギ、クサボケ、クロモジ、コゴメウツギ、シモツケ、タラノキ、ニワトコ、ミツバツツジ、ヤマブキ、ヤマブドウ、アズマネザサ、オカメザサ、クマザサ、マダケ、ヤダケ 他

トチノキの花 (5月)

トチノミ (9月)



## 四季の花とみどり



オニグルミの実 (9月)



ヤマブキ (4月)



キクラゲ (5月)



カラムシ (糸作りの原料)



カブトムシ (夏)

## 昆虫・鳥たちとのふれあい

「縄文の村」では、今までにカブトムシやクロアゲハなど里山に棲息する100種類以上の昆虫や、コゲラ・アオゲラなどのキツツキの仲間をはじめ、30種類以上の鳥や動物が確認されています。運がよければオオタカやタヌキに遭遇できるかも! ※これらの生物は常時棲息している訳ではありません。



ツマキチョウとムラサキケマン (4月)



ウラナミアカシジミ (6月)



アオゲラ



ホンドウヌキ



オオタカ